

じゅくじょうかんぎぶんをかこう！

どんな本でかこうかな？

- ・じぶんが さいでいまで たのしく よめる本。
- ・じぶんで えらんだ ほん。

としょかんには
おすすめ本リストも
あるよ！

よんだあとは

じぶんの 3しめるいの メモを かいてみよう。

① じぶんが その本を えらんだ りゆうを かいた メモ。

② こんなことを おもいだしながら かいた メモ。

- ・とくに いろいろに のこったのは どこかな？
- ・とくに ぶきぶきしたのは どこかな？
- ・ふしぎに おもった ところは あったかな？
- ・しゅじんこうの きもちで、「じぶんと いっしょだよ！」と おもった ところは あったかな？
- ・ほかに、みんなに しようかいしたい ばめんは あったかな？

③「その本を よんで じぶんが どういう きもちになったか」や、

「じぶんが どんな ふうにかわったか」などを かいた メモ。

メモをならべよう。

つくったメモのなかから、「どれをつかうか」をえらびながら、メモを じゅんばんに ならべて、げんこうように メモの ないようをかこう。

*メモの じゅんばんは ①↓②↓③↓④↓⑤↓⑥↓⑦↓⑧↓⑨↓⑩↓⑪↓⑫↓⑬↓⑭↓⑮↓⑯↓⑰↓⑱↓⑲↓⑳↓㉑↓㉒↓㉓↓㉔↓㉕↓㉖↓㉗↓㉘↓㉙↓㉚↓㉛↓㉜↓㉝↓㉞↓㉟↓㊱↓㊲↓㊳↓㊴↓㊵↓㊶↓㊷↓㊸↓㊹↓㊺↓㊻↓㊼↓㊽↓㊾↓㊿↓

*メモ②をいくつつかうかはじぶんできめてね。
つかわないメモもでてくるよ。

とあ、かこう！

じぶんの ことばを ききつけて ゆっくり かこう。

「ぼくがこのほんをよもうとおもったのは、おひるにちくわをたふたからです。」

はじめは、1マス あけます。

「はなしている ないようが かわるとき、 たての 「ぎょう」を いどうします。」

「だいいい、がくねん、 みようじ、なまえは、 マスのそとに、 かきましよう。」

はなしている ないようが かわるとき、 たての 「ぎょう」を いどうします。

「「や」「も ぶつうは 1マス つかって かきます。 ただし、いちばん したのマスだけは、 もじといっしょに 「」「」をかきま しよう。」

はなしている ないようが かわるとき、 たての 「ぎょう」を いどうします。

「ぼくはきらいしよに、..... おもいます。 まさひつじきになつたことば、.....」

そのほかに、きをつけること

- ・タイトルや、本のなかに でてくる ことばを そのまま かえないで つかう ときは 「」で くくるといふ。
- ・ぶんしょうの さいごを「〇〇です」という ていねいな いいかたにするか、
- 「〇〇だ」という いいかたにするか、ちゃんと きめてから かくこと。
- ・ぜんたいの はんぶん いじょうを、②の メモの ぶんしょうに すること。
- ・ひとの かんがえた ぶんしょうを そのまま まねするのは ぜったい だめ！

これは、とあはして、とあ、かんて かんがえた ほうほうです。
これを よんでも うまく かけなかったら、としょかんの 本を かりたり、 おうちのひとや がっこうの せんせいと さんだん してみてね。